

泉南市の防災対策について

災害対策用の備蓄編

令和2年2月5日

1

～泉南市では～

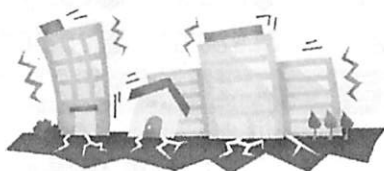
南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、食料や毛布等の生活必需品について、大阪府と府内市町村で構成する「大阪府域救援物資対策協議会」で検討された「大規模災害時における備蓄方針」に沿って、備蓄を進めています。

2

Q:どんな地震災害を想定？

- ・南海トラフ地震
- ・中央構造線断層帯地震

などの大規模地震災害を想定しています



3

Q:どんなものを備蓄していますか？

→ まずは、【重要11品目】を備蓄しています

- ①食糧（アルファ化米、乾パン等）
- ②高齢者食（おかゆ等）
- ③毛布
- ④乳児用のミルク
- ⑤ほ乳瓶
- ⑥乳児用おむつ
- ⑦大人用おむつ
- ⑧簡易トイレ
- ⑨生理用品
- ⑩トイレットペーパー
- ⑪マスク



4

Q:【重要11品目】の備蓄数量は？

品 目	目標数	備蓄数	充足率
食糧(アルファ化米)	19,200食	15,875食	83%
高齢者食(おかゆ)	1,500食	1,500食	100%
毛布	7,124枚	7,200枚	100%
乳児用ミルク	8,356g	12,960g	100%
ほ乳瓶	80本	100本	100%
乳児用おむつ	1,150枚	1,376枚	100%

5

品 目	目標数	備蓄数	充足率
大人用おむつ	230枚	1,584食	100%
簡易トイレ	36基	481基	100%
生理用品	1,150枚	12,000枚	100%
トイレットペーパー	43,034m	43,200m	100%
マスク	104枚	2,000枚	100%

その他の備蓄

保存水、おむつ交換台、段ボール畳、間仕切り、
防災用マルチルーム、発泡スチロール容器等

6

Q:目標数量はどのように設定しているか？

食糧の場合

南海トラフ地震で想定される避難者数
→ 3,826人

$3,826人 \times 3食 \times 3日分 \times 1.20 = 41,320食$

$41,320食 \times 1/2 = 20,660 \div 20,700食$

* $20,700 \times 7\% \div 1,500食$ を高齢者食

* 大阪府と泉南市 1対1の割合で備蓄

7

Q:備蓄物資の主な保管場所は？

樽井防災コミュニティセンター、
泉南中学校倉庫、旧鳴滝幼稚園、
大阪府南部広域防災拠点等に分散して保管

- ・また、指定避難所となる小中学校には一定数量の毛布、簡易トイレを設置
- ・食糧等については、保管スペースの確保や消費期限の管理等の課題

8

Q:今後の災害備蓄の取り組みは？

◎食糧の備蓄充足率を100%へ

◎備蓄物資の充実、強化を図る
液体ミルクの導入など

※過去の災害での教訓等を参考に検討を
進めていきます。

9

◎平成30年台風21号での経験と教訓

◆応急対策

ブルーシート、土のう袋

◆大規模停電対策

ポータブル発電機、照明器具、
コードリール

◆避難所の環境改善に必要な物資の調達

避難所敷設シート、段ボールベッド等

* 計画的な備蓄物資の調達を進めていく

10

◎防災協定締結による応急復旧活動に関する
人的、物的支援

◇大規模災害の発生直後は都市機能が損なわれ、
被災自治体単独での応急復旧活動は困難。

→大規模災害に備え、公的機関や民間事業者56
団体との間で、相互応援協定や防災活動協力に
関する協定を締結している。

11

◎防災協定の主な内容

◆生活必需品等の物資の提供・調達

◆避難場所の提供

◆災害復旧に係る建設資機材・人員の提供

◆水道施設・電気設備等の防災活動協力

◆災害廃棄物の処理支援

◆人工透析患者の受入 ◇医療救護活動

◆無人飛行機（ドローン）による被災状況
確認

12

◎ご家庭でも防災備蓄を！

◆水や食料等を少し多めに買い置き

※最低でも3日分、できれば1週間分の備蓄
をお願いします

◆カセット式コンロ



◆懐中電灯などの照明器具

◆乾電池やモバイルバッテリー等の
蓄電機器

13

ご清聴ありがとうございました

14